

第3回協議会だより 《南方部》



—令和5年1月16日（月）15:00～16:40 ニコニコこども館 3階研修室—

【実践発表】 安積町つつみ幼稚園

「指導要録を介した小学校との連携」



安積町つつみ幼稚園では「やさしく・のびのびと・けじめをつけて」を教育目標に掲げて、子どもたちの個性や感性を最大限に伸ばすことを大切に保育しています。

実践事例として、「インクルーシブ保育」についての紹介がありました。支援が必要な子に対しては、個別にねらいを設定して合理的な配慮をしながら、集団の中でも楽しく生活していけるような支援をしています。また、今回のテーマである指導要録を介した小学校との連携については、現状と課題について触れ、幼保と小の引継ぎの方法が様々であることから、「共有するためには統一化を図ったら良いのでは」という提案が出されました。このことは協議会でも話題となり、課題解決に向け充実したグループ討議が行われました。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



☆ 安積町つつみ幼稚園の発表について

- 毎日の「保育日誌」の他に一人ひとりの姿や支援方法をまとめた「ケース記録」、長期的な目標を立てた「個別支援記録」等を記入しており、保育の振り返りが出来ている。記録することで、子どもの特性や必要な支援が明確になっている。
- 個に応じた支援を充実させるために「ひまわり教室」を設置している。そこでの活動の様子を、保護者へおたより等で発信するなど保護者との連携も深めている。
- 事例を聞いて、就学先との引継ぎについては改めて見直すきっかけとなった。

☆ 指導（保育）要録を介した幼保と小の情報共有について

- 要録送付時期よりも早めに、就学時健康診断の時期に、幼保と小学校の情報共有を図れたらよいと思う。
- 就学に向けて小学校との引継ぎが行われるが、引継ぎの方法が様々なので円滑に進めるためにも統一してほしいと感じる。

《参加者からのアンケートから》

- 安積町つつみ幼稚園の実践発表では、幼稚園の丁寧で手厚い保育を知れて勉強になりました。連携がスムーズにいくような仕組みが構築されるとよいと思いました。（小学校：女）
- 他の園さんも同じ悩みを持っていることを知り、少しほっとしたと同時に、同じ悩みだからこそ解決に導くことができるのではないかと思います。（幼稚園：女）

「相互参観だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。